

各 位

2020年11月9日

上場会社名 株式会社 ニッピ
 代表者 代表取締役社長 河村 桂作
 (コード番号 7932)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 井上 善之
 (TEL 03-3888-5117)

2021年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2020年5月22日に公表しました2021年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

2021年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,000	350	300	3,800	1,321.12
実績(B)	17,094	582	577	4,129	1,435.67
増減額(B-A)	△1,905	232	277	329	
増減率(%)	△10.0	66.3	92.4	8.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	21,973	1,090	1,055	748	476.8

(差異の理由)

売上高に関しましては、コロナ禍の影響により想定以上に苦戦いたしました。

業績予想値を下回った主な理由としましては、靴用革は紳士婦人ともに生活様式の変容に伴い革靴の需要減少、自動車ハンドル用革は自動車メーカーの生産調整、イタリア食材は外食産業の営業自粛や低迷により、販売は大きく減少いたしました。また、コラーゲン・ケーシングは外出自粛によりフランクサイズが低調に推移し、ゼラチン及びコラーゲンペプチドはインバウンド需要激減の影響を受けて低迷いたしました。

営業利益、経常利益に関しましては、業績予想値を上回りました。

主な理由としましては、「ニッピコラーゲン 100」はコロナ禍のなか、健康志向の一層の高まりを背景に伸張し、また、広告効率の見直しにより広告宣伝費を削減いたしました。コラーゲン・ケーシングは海外市場での価格改定及び安定的な生産と製造費用の低減が図られたこと、ゼラチンは豚由来製品の価格改定の実施、コラーゲンペプチドは魚由来原料の価格に落ち着きがみられたことなどにより、収益性は改善又は維持いたしました。

以上のことから、第2四半期累計期間の連結業績予想と差異が生じました。

なお、通期の連結業績予想に関しましては、第2四半期累計期間において業績差異が生じましたが、下期の計画値を直近の業績動向を踏まえ見直した結果、2020年5月22日に公表いたしました数値に変更はありません。

* 上記の予想は、本資料発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後さまざまな要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以上